

# 巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

塩谷惠策 SJ

58

(第六部 帰国)

第二十幕 第一

場

1524年四旬節

バルセローナの港

登場人物：巡礼者 イニゴ  
援助者 イサベル・ロセル  
Magister ヘロニモ・アルデヴォル

【語り】 やつとのことで、ジェノヴァにたどり着くことが出来たイニゴは、昔の友ロドリゴ・ポルトゥンドに出会い、彼はイニゴがバルセローナ行きの船に乗れるよう手配してくれました。ロドリゴは、イニゴが騎士であったころ共にカトリック王の宮殿で仕えていた仲間で、摂理的にこの時ジェノヴァに住んでいたのです。

イニゴがバルセローナに着いたのはその年の四旬節でした。1524年の灰の水曜日は2月9日であり、イニゴがバルセローナに入港したのは2月下旬か3月上旬であったろうと推測されます。その年から丁度500年目にあたる今年2024年の四旬節は2月14日（灰の水曜日）から3月30日までですから、イニゴのバルセローナ帰還は500年前の正にこの時期のことだったことになります。（2024年3月）

イニゴはイサベル・ロセル<sup>\*13</sup>に帰国を知らせ、イサベルは尊敬するイニゴが無事帰ったと知り大喜びでイニゴのもとに駆け付けます。

イサベル・ロセル：まあ、イニゴ様 お帰りなさい。ようこそご無事で！聖地エルサレムにお着きになったということまでは伺っていたのですが、

その後どうなされているかと心配しながら祈っておりました。

イニゴ：ご心配をおかけしました。お祈りに感謝します。昨年9月23日にエルサレムを発ったのですが、途中逆風などに悩まされ、ヴェネチアに着いたのは1月の半ばでした。

イサベル：聖地からイタリアまで4か月近くの旅だったのですね！  
冬の海はさぞ寒かったでしょう！

イニゴ：11月頃から海風が冷たくなりました。小雪が舞ったりする日があったし。

イサベル：ご苦労が多かったのですね。本当にお疲れ様でした。ずいぶんお痩せになったこと。

イニゴ：よくも無事に切り抜けられたものだ と思うことも何度かありましたが、その都度神様が助けてくださいました。

イサベル：ご出発の時にも、「神様のみに信頼を置いて巡礼したいので、皆さんのご厚意はお受けしません」とおっしゃって、私どもの申し出はすべてお断りになりました。聖地までの行き帰りの船の船長さんたちがよく只で乗船させてくれましたね。

イニゴ：何度も何度も断られたことはありましたが、それでも神様は最後にはいつも助けてくださいました。

イサベル：神様に対するイニゴ様の信頼は本当に無条件で揺るがないものですね。 おお寒い。海風を避けてゆっくりお話が聞きたいので、私どもの家にいらっしゃいませんか？初めから拙宅をお尋ねくださればよかったのに。

イニゴ：道もよくわからないし、昼間はあなた一人きりかもしれないと思ったので、お訪ねするのは遠慮しました。

イサベル：いつもメイドと一緒に家にいますわ。それに、・・・ああそうだ、マジステル・アルデヴォルをお呼びしましょう。いつかイニゴ様にお会いしたいと言っていたから、お喜びになるでしょう。イニゴ様

のことを度々お話ししていましたので。

イニゴ：そうですか、それでは伺いましょう。

## 第二場

### イサベル・ロセルの家の応接間

イサベル：イニゴ様、この方が Magister アルデヴォルです。先生、こちらが度々お話ししていましたイニゴ様です。お二人ともどうぞおかけになって、おくつろぎください。

アルデヴォル：ヘロニモ・アルデヴォルと言います。ロセル夫人からあなたのことを伺っていました。お会いできて光栄です。聖地巡礼から今日帰られたそうですね。

イニゴ：初めまして。巡礼者イニゴと申します。今朝バルセローナに入港しました。

アルデヴォル：冬の地中海は大変だったでしょう。昔から 10 月半ばを過ぎたら航海は危険と言われていました。1500 年も前になりますが、聖パウロがローマに護送されたとき<sup>\*14</sup>難破したのも、この季節でした。エウラキロンと言う北からの暴風が吹き荒れてマルタ島まで流され、九死に一生を得たところです。この北風に流されてアフリカの北海岸の浅瀬に乗り上げたら最後、パウロ一行は一巻の終わりになるころでした。このシルティスの浅瀬のことを水夫たちは「海の墓場」と呼んでいたくらいです。

イニゴ：確かに強風や逆風のために、水夫たちは難儀していました。でも、神がいつも護っていて下さいましたから、長くかかりはしましたが、何の心配もありませんでした。

イサベル：ヴェネツィアからジェノヴァまでお歩きになったのでしょうか？

イニゴ：飛行機も新幹線もなかったものですから。

アルデヴォル：北イタリアではイスパニアの皇帝軍とフランス軍が闘っていたでしょう？よく無事に通り抜けられましたね！少なくとも見積もっても80レグア（約450km）は歩かれたのですね。これはすごい。毎日確実に食事できる保証もなく、それにその薄着でねー！！感服するばかりです。

イニゴ：イエス様も、よくお歩きになりました。ガリラヤからエルサレムやベトレヘムまで往復40レグアぐらいとすれば、それ以上の距離を何往復もされたことでしょう。

イサベル：でも、戦場ではなかったでしょう？

イニゴ：それはもっと平和だったでしょう。少なくとも、イエス様の時代には大きな戦争はありませんでした。

アルデヴォル：戦争と言えば、ジェノヴァからスペインまでの海だってスペインとフランスの海戦の場でしょう？

イニゴ：その通りです。今フランス側についているドーリアの船に追いかけられましたね。

イサベルとアルデヴォル：（同時に）えっ、ドーリアに？

イサベル：何ということでしょう？

アルデヴォル：よくもご無事で！あの海賊に狙われたら最後、誰も逃げられはしないと聞いています。スペイン船だと分かればなおのこと、執拗に攻撃してきたでしょうに。

イニゴ：その通り、彼らは我々に停船を命じ、襲い掛かろうとしましたが、我々の船は一目散に逃げ切りました。

アルデヴォル：アンドレア・ドーリアに狙われながら逃げ切れたなど、よほど運が良かったのですね！

イサベル：運ではなく、神様がお守りくださったのですわ。イニゴ様は神様の

ご加護に包まれていらっしゃるのですね。

イニゴ：それを固く信じ、感謝しています。

(ノックの音)

メイド：奥様、お食事の用意が出来ました。

イサベル：ああ、有難う。

それでは、どうぞ食堂の方にお越しください。

イニゴ：突然伺ったのに、有難うございます。

イサベル：スープにお湯を入れて倍に薄めましたの。

イニゴ：それでも、熱いスープは有難いなー。甲板の上で乾パンを食べていた身にしてみれば。

(一同、食堂に赴く)

注：\*13 イサベル・ロセルは、バルセローナだけでなく、イニゴが後にパリーで勉学をしていた間も、イニゴを援助していた恩人である。イエズス会が修道会として認可された(1540)後、イサベルは1543年にローマに来て入会し、1545年にはイエズス会の誓願を立てた。しかしその後いろいろな問題が生じ、イグナチオは彼女がイエズス会の生活には召されていないと判断し、2年後に彼女の誓願を解いた。この経験から、イグナチオは、イエズス会員を男子だけに限ることにした。イサベルはバルセローナに帰り、エルサレムの聖マリアのフランシスコ会に入会し、1554年に帰天した。

\*14 使徒言行録 第27章・第28章参照